



広域ハザードマップの取組

熊本県北地域広域ハザードマップ(案)について

【目的】

1つの市町で対応できないような災害（菊池川流域の想定最大規模降雨による浸水想定区域と土砂災害）を想定し、災害時の関係機関の連携・支援を目的として、以下の観点で広域ハザードマップ(案)を作成した。

- ① 市町村長及び自治体災害対策本部が、迅速かつ的確に住民に避難を促す。
- ② 人命救助など、被災自治体に支援に行った関係機関が活用する。

熊本県北地域広域ハザードマップ(案)について

■ 広域ハザードマップ(案)

○全域版

熊本県北地域を1枚で表示したマップ → P4、P5

○拡大版

地域毎に拡大し、避難所の収容人数等を表示したマップ → P7

熊本県北地域広域ハザードマップ(案)について

■ 広域ハザードマップ(案)の表示内容

- ハザード

(菊池川想定最大規模降雨における浸水想定区域、土砂災害特別警戒区域・警戒区域、最大クラスの津波[1792年に島原で発生した眉山崩壊による大津波の到達実績 TP.8m])

※ハザード情報有無の2種類のマップを作成。

- 市町村界

- 近隣自治体の避難場所（100人以上収容可能と思われる避難所を表示）

※拡大版では収容人員、標高を表示。

- 道の駅

- ヘリポート ※拡大版ではヘリポートの縦横の長さを表示。

- 対空表示（菊池川の堤防に大きくマーキングしている距離標）

- 主要な宿泊施設、温泉街

- 国道・県道、高速道路、JR、新幹線・緊急輸送道路

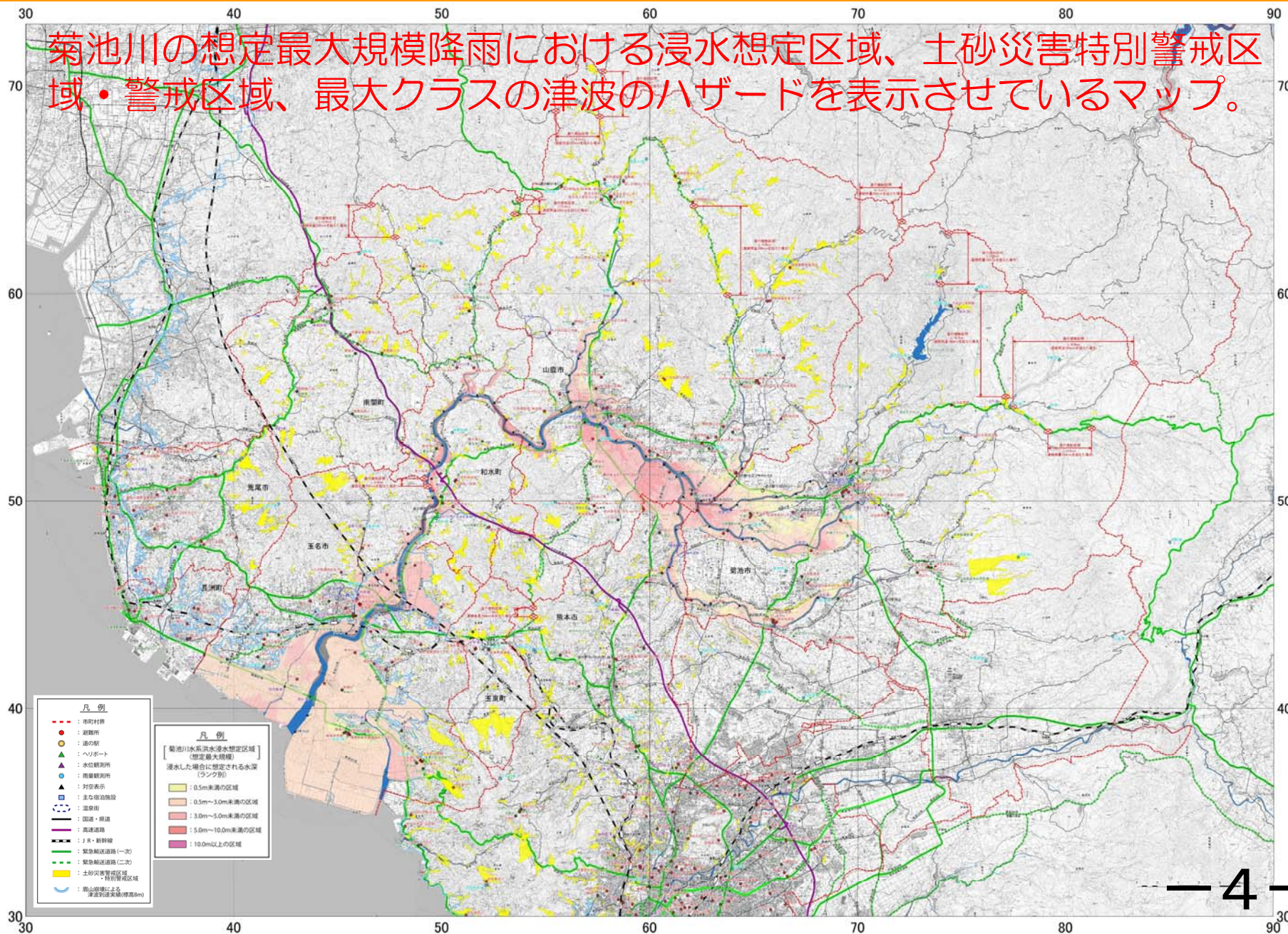
- 水位観測所、雨量観測所

- 雨量による通行規制のある道路

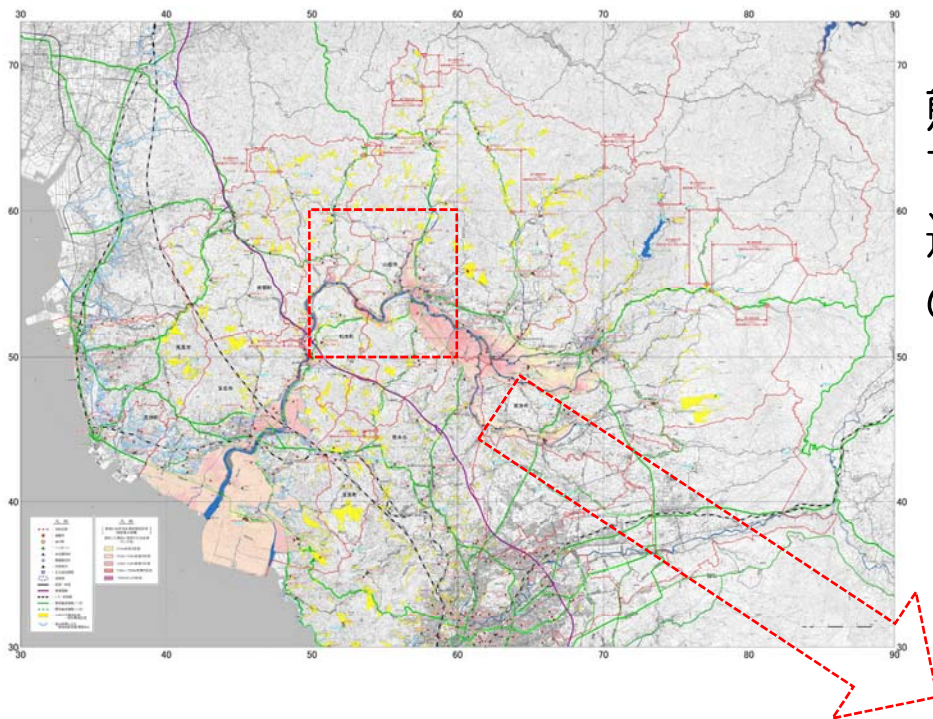
- UTMグリッド(災害情報の位置情報共通化) ※拡大版のみ表示

熊本県北地域広域ハザードマップ(案) 災害情報有 全域版

菊池川の想定最大規模降雨における浸水想定区域、土砂災害特別警戒区域・警戒区域、最大クラスの津波のハザードを表示させているマップ。

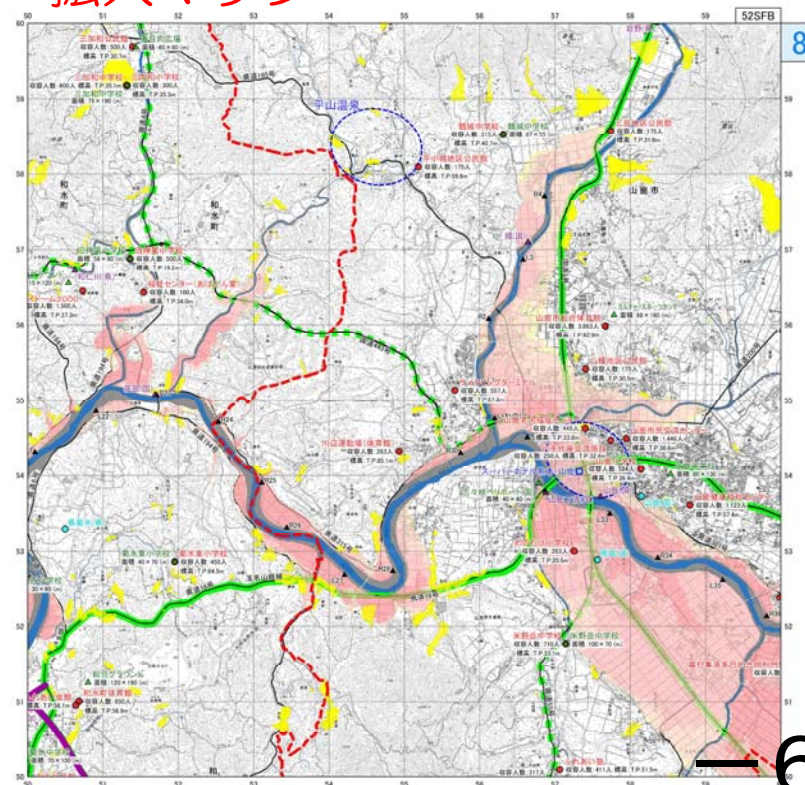


熊本県北地域広域ハザードマップ(案) 災害情報有 拡大版



熊本県北地域の全域マップから、
下記のように地域毎に拡大したマップ。
避難所の収容人数、標高、ヘリポートの
縦横の長さを表示。

拡大マップ



※災害情報無でも同様の拡大版を作成。

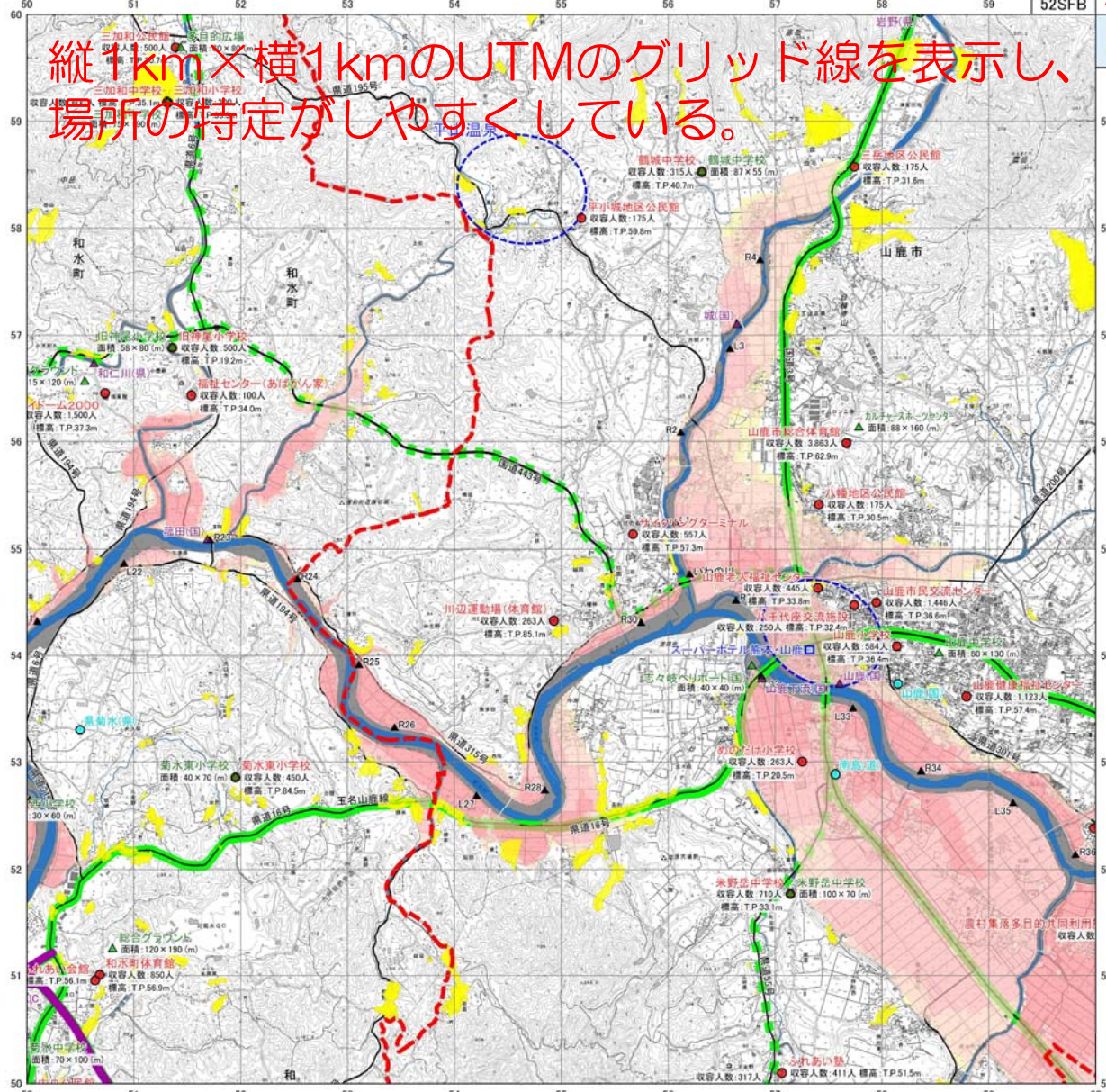
熊本県北地域広域ハザードマップ(案) 災害情報有 拡大版

座標帯等番号

縦1km×横1kmのUTMのグリッド線を表示し、場所の特定がしやすくしている。

8

UTMグリッド南北線



- 凡例
- : 市町村界
 - : 避難所
 - : 道の駅
 - ▲ : ヘリポート
 - ▲ : 水位観測所
 - : 雨量観測所
 - ▲ : 対空表示
 - : 主な宿泊施設
 - : 温泉街
 - : 国道・県道
 - : 高速道路
 - : J R・新幹線
 - : 緊急輸送道路(一次)
 - : 緊急輸送道路(二次)
 - : 土砂災害警戒区域
 - : 特別警戒区域
 - : 扇山崩壊による津波到達実績(標高8m)

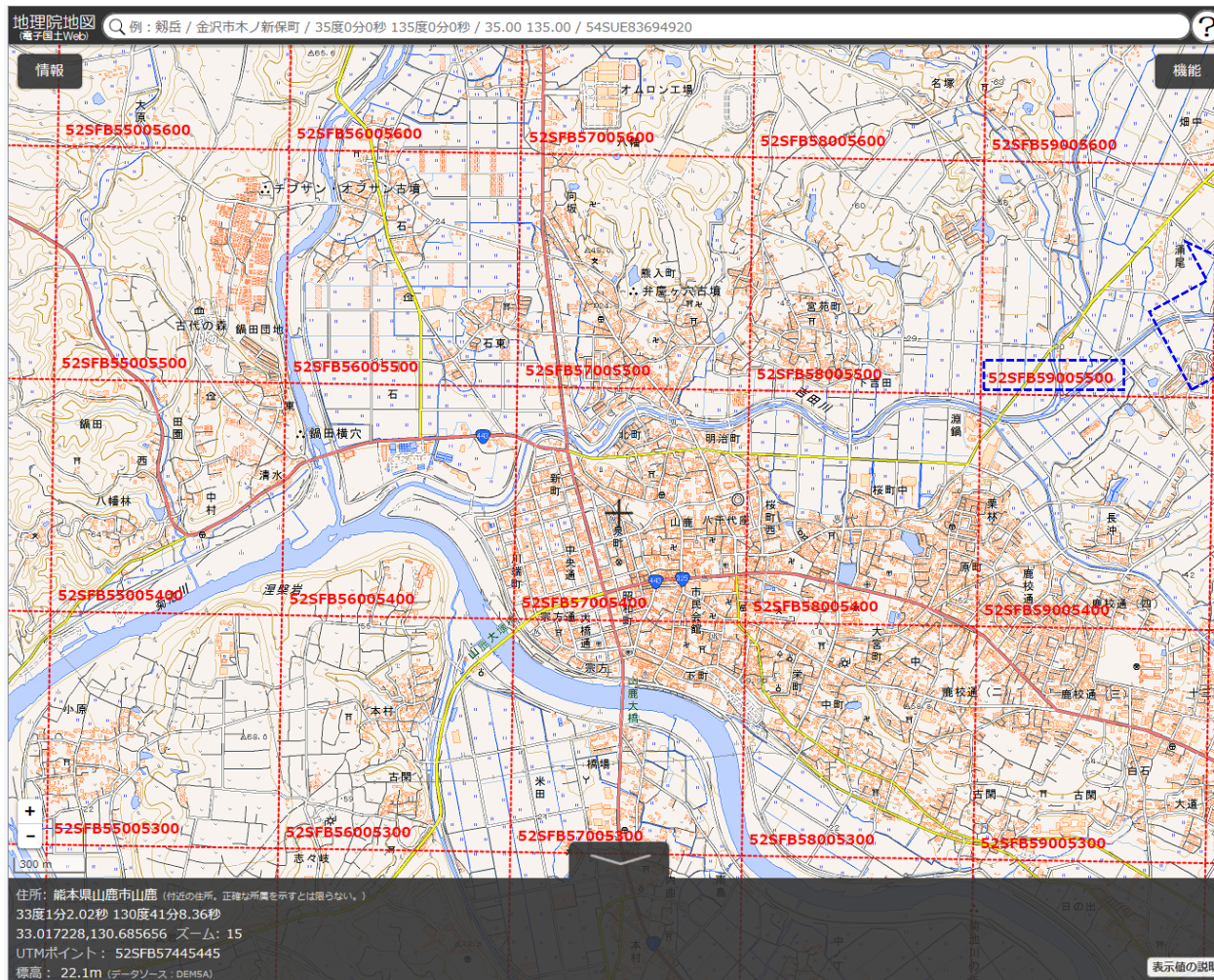
- 凡例
- [菊池川水系洪水浸水想定区域]
(想定最大規模)
- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- : 0.5m未満の区域
 - : 0.5m~3.0m未満の区域
 - : 3.0m~5.0m未満の区域
 - : 5.0m~10.0m未満の区域
 - : 10.0m以上の区域



UTMグリッド東西線

参考：UTMグリッドとは

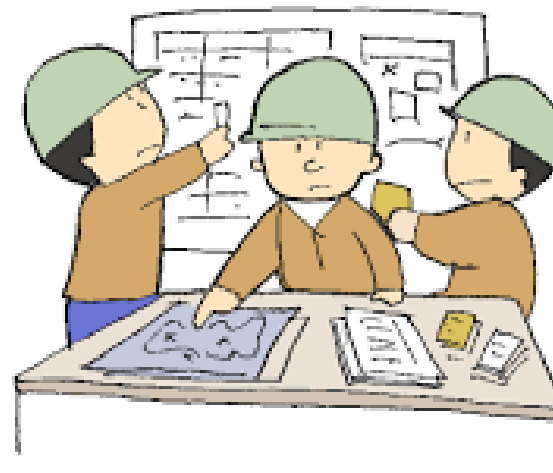
- 各関係機関が目的をもって作成している地理情報（縮尺や地理情報の表現の違い）にUTMグリッドを加えることで、共通の位置情報ツールに変えることができる。
- その他、地名を知らなくとも、地名のない場所でも確実に情報が伝えられる。
- 国土地理院の地理院地図（電子国土WEB）で確認できる。



広域ハザードマップの活用

大規模災害時（河川氾濫、地震、土砂災害、津波）に活用

①災害時に、矢面に立つ県北地域各自治体職員防災担当者の負担軽減



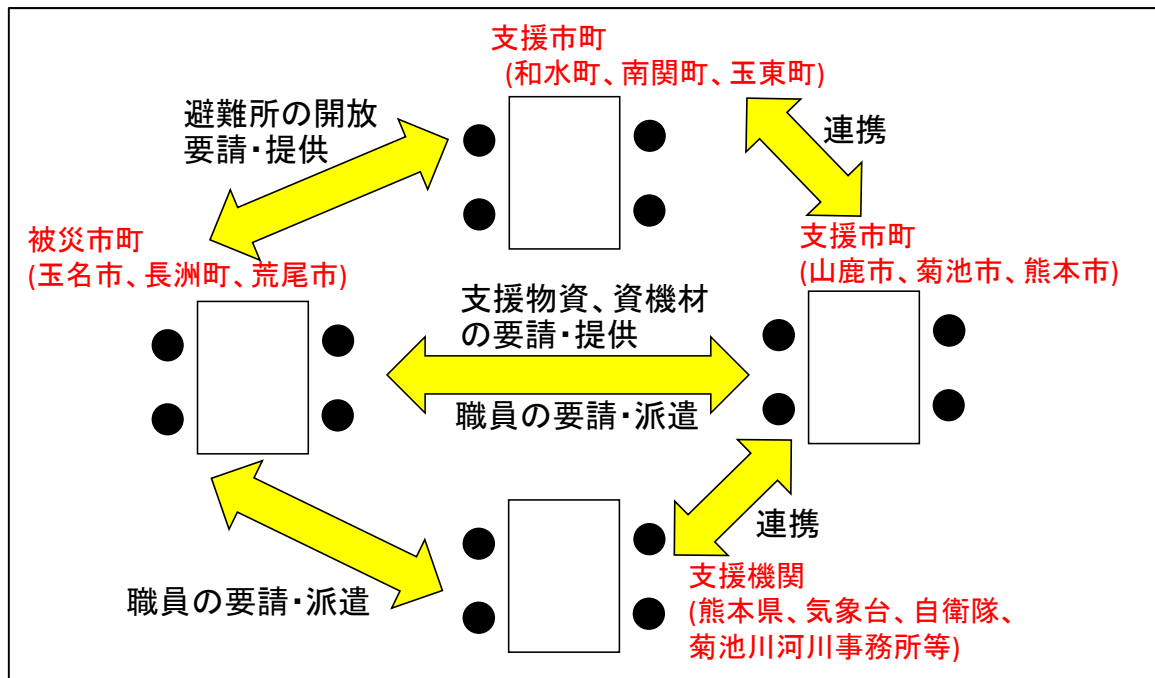
②支援関係機関のスムーズな人命救助等に寄与



広域連携に向けた訓練に活用（段階的に訓練の質を高める）

- ① **まずは、幹事会時に、図上訓練を実施。（ロールプレイング）**

例：対象ハザードを大津波と想定。



※情報共有できる仕組みについても議論していく。

- ② 幹事会メンバー、自衛隊等の連携による**広域訓練**
(毎年〇月に実施)

〇〇地区の
マイハザードマップ完成

- ③ 幹事会メンバー、自衛隊、マイハザードマップ完成地区
住民等による広域合同訓練 (毎年〇月に実施)

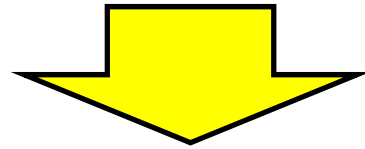


マイハザードマップの取組

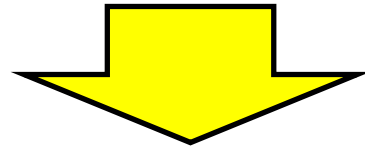
マイハザードマップについて

【目的】

マイハザードマップの作成の取組



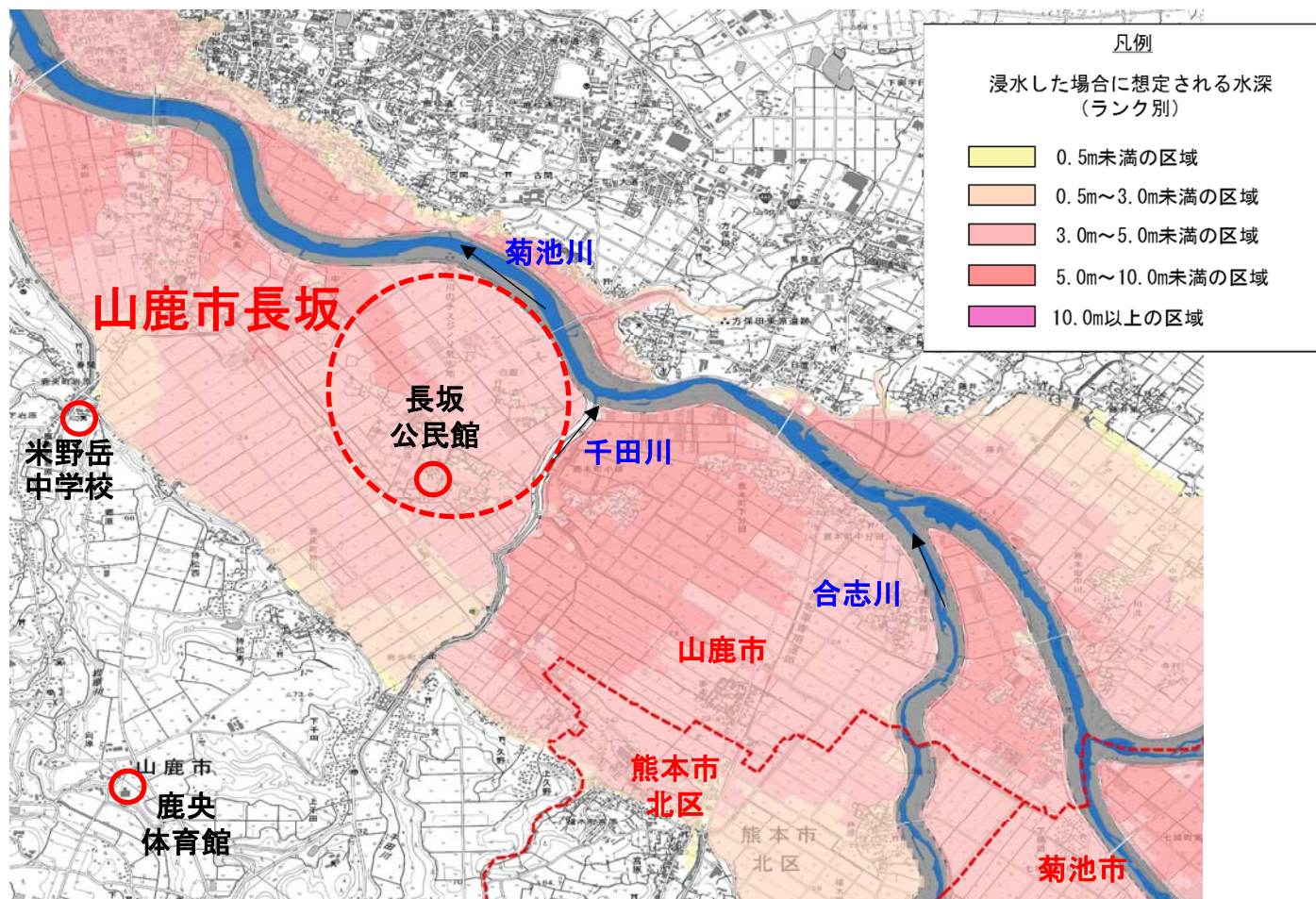
- 災害リスクの把握
- 避難経路の把握
- 防災情報の認識と活用
- 住民の防災意識の向上



住民自らの判断で避難する**自助意識**・**共助意識**が定着

マイハザードマップの取組事例 山鹿市長坂

山鹿市長坂の自治会、山鹿市、熊本大学、熊本県が連携し、取組を実施中。
長坂地区の周囲に菊池川、千田川が流れており、想定最大規模の浸水想定区域
図では、3m以上の浸水も想定される地域である。



菊池川水系浸水想定区域図【想定最大規模降雨】

マイハザードマップの取組事例 山鹿市長坂

- 平成30年1月17日 長坂公民館
- マイハザードマップの作成手順等についての住民説明会を実施



■住民からの主な意見

- 避難所が遠いため、近傍の工場等の民間施設が1次避難所であれば助かる。
- 千田川沿川に排水機場ができ、近年内水浸水がなくなっていると思われる。

今後の予定

各自治体で1地区以上でマイハザードマップの作成に取り組み、広域ハザードマップと連携していく予定。